



審査した案件と結果		可決された意見書	
知事提出の議案	議員等提出の案件	○防災・減災対策の充実・強化を求める意見書	
・予算 9件(可決)	・発議 2件(可決)	○認知症施策の推進を求める意見書	
・条例 4件(可決)	・認定 3件(認定)		
・事件 11件(可決)	・意見書 2件(可決)		
・計画 2件(可決)			
	請願		
	・3件(不採択)		

平成30年11月定例会にて活発な論議が交わされました!

平成30年11月定例会は、11月27日から12月20日まで開かれました。本会議初日は、平成30年度長崎県一般会計補正予算(第3号)などの議案が上程され、知事が県政の重要事項について報告し、当面する諸課題について所信を述べるとともに、提出議案について提案理由の説明を行いました。

一般質問では、12名の議員が登壇し、九州新幹線西九州ルート全線フル規格化への取組、石木ダム建設促進、長崎空港24時間化の推進、企業誘致の推進、本県の地域医療のあり方、被爆75年の平和事業、国際大会のキャンプ誘致、子どもの権利擁護など様々な事項について活発な論議が交わされました。

補正予算については、災害及び国の補正予算への対応に要する経費、給与改定に要する経費その他緊急を要する経費について編成され、一般会計計4億6,070万5千円の増額補正となりました。

本定例会では、33件の議案が審議され30件を原案のとおり可決、同意するとともに、平成29年度長崎県一般会計決算及び各特別会計決算の認定(11件)など33件について認定しました。

また、「防災・減災対策の充実・強化を求める意見書」「認知症施策の推進を求める意見書」の2件の意見書を可決しました。

常任委員会

総務委員会 委員長/大場 博文

【質問】障害者雇用に関し、来年度、県において知的障害者を非常勤職員として採用し、ワークサポートオフィスを設置するとの取組内容と採用人数はどのように計画しているのか。

【答弁】ワークサポートオフィスについては、県庁内各課から集約された業務を知的障害者の方を対象として行っていただくこととしている。また一定期間就労したのち、民間企業等へのステップアップにつながるようなスキルアップを図りたいと考えている。人数としては、知事部局と教育庁も含めて5名程度を想定している。

【主な論議事項】サイバー犯罪に対する取組について/IR事業について/県庁舎跡地活用について 等

文教厚生委員会 委員長/近藤 啓昭

【質問】私立学校において不登校となった児童生徒の行き場所について、県ではどのような対応を行っているのか。

【答弁】義務教育課程の小学生、中学生については、市町教育委員会と連携した公立学校での受入等を支援している。また、中途退学した高校生について、関係機関と連携し、就労支援やゆきこもりに対する支援に取り組んでいる。

【主な論議事項】運動部活動指導員の配置について/歯科衛生士及び歯科技工士の確保について/ココロなっご運動について/長崎県教育大綱の策定について/小中学校の適正な学級規模について/健康長寿日本一の長崎県づくりについて/医療的ケア児の在宅医療体制について 等

環境生活委員会 委員長/里脇 清隆

【質問】廃プラスチックごみの処理状況に関し、平成29年12月末からの中国の輸入規制に伴い、国内の廃プラスチックの溜め込みが懸念されているが、県内で滞留は確認されているのか。また、レジ袋削減などの取組は、どのような状況であるか。

【答弁】平成30年8月に県内の状況を調査したが、県内で処理が滞留している事象は確認されていない。レジ袋削減については新上五島町の8事業者及びイオン九州は、県及びながさき環境県民会議等と協定を結び有料化に取り組み中である。

【主な論議事項】一般県道早外環状線道路改良工事について/長崎・幸町工場跡地活用事業に向けた要望について/学校での消費者教育について/県営バスのハイブリッド車導入の検討について 等

農水経済委員会 委員長/山口 経正

【質問】農業分野における外国人労働者の受け入れに関し、今後のスケジュールをどう考えているのか。また、特区の区域指定の状況はどうなっているのか。

【答弁】平成31年1月から2月をめどに、株式会社としてサービス事業者の設立を予定しており、労働者派遣法の許可の手続きなどを経て、繁忙期のピークである5月には派遣が開始できるよう、関係者と調整を行っているところである。外国人労働者の受け入れについては、特区の活用と並行して、平成31年4月に施行される改正出入国管理法の特定技能制度の活用も検討していきたい。

【主な論議事項】新たな基幹産業の創出に向けたロードマップについて/大村湾の漁協合併について/水産改革について 等

予算決算委員会 委員長/高比良 元

【質問】食品加工センター施設整備費に関し、大村市に整備が予定される同センターの利用者及び開設にあたっての目標をどのように考えているのか。また、開設に向けて、食品加工センターの機能を十分に発揮できるよう、市場リサーチや流通などの専門家の知見も踏まえていくべきではないか。

【答弁】生産者、食料品製造業者等、幅広い活用を考えており、利用件数年間700件、そのうち試作件数年間50件を目標としている。より食品産業の振興につながるセンターとなるよう、今後とも、専門家などの意見を聞いていきたい。

【主な論議事項】航空対策費について/特別支援学校施設整備費について/公の施設の指定管理者の指定に伴う債務負担行為の設定について 等

子どもの権利擁護に関する第三者機関の設置について
山田 朋子 (佐世保市/北松浦郡/改革21)

【質問】第三者機関の設置に向けての検討状況は、民間との連携をどのように考えているか。

【答弁】県では、子どもの権利侵害を救済するため、児童相談所全国共通ダイヤル189や、子ども家庭110番など、相談内容に応じた各種窓口を設置して対応している。県内、医療、司法、教育、福祉などの専門家が参画する民間の第三者機関が設置されたことで、積極的に周知を図り、県の相談機関との連携促進に努めていきたい。

オリンピック・パラリンピックポータル競技出場国の事前キャンプの誘致について
大久保 潔重 (諫早市/自由民主党/県民会議)

【質問】東京オリンピック・パラリンピックのポータルの出場国が決まった際、事前キャンプを諫早市の本明川に誘致できないか。

【答弁】本明川下流域でポータル競技の日本代表チームの強化合宿が実施され、トップレベルチームの誘致も可能というところになる。この施設が海外チームのキャンプ地としても活用できることになり、今後、地元諫早市並びに県ポータル協会を協議、検討していきたい。

マグロの資源管理について
坂本 智徳 (対馬市/自由民主党)

【質問】マグロの資源管理について、要望活動等の結果、国の施策にどのように反映されるのか。どのような課題が残っているのか。

【答弁】資源管理に伴う減収を補填する収入安定対策の拡充や操業自粛に伴い生じた残枠を翌期以降に上乗せする措置など、本県が求めた制度の改善が進められている。今後も、我が国の漁獲枠の増枠、マグロに依存しない漁法への転換支援、やむを得ない休漁に対する補償など本県漁業者のさらなる負担軽減を国に求めていきたい。

石木ダム建設促進について
中島 廣義 (東彼杵郡/自由民主党/県民会議)

【質問】治水はもとより、県北地域の振興といった観点からも、石木ダムは必要不可欠であるが、工事の進捗状況と、石木ダム建設事業に対し今後どのように取り組んでいくのか、知事の考えは。

【答弁】工事については、現場の安全を確保しながら切れ目なく進めるため、新たな工区の契約の進捗を図るため、国に対し、必要な予算の確保をお願いしている。早期完成を目指し、地権者の皆様から協力が得られるよう、事業推進に全力を注ぐ。

本県の地域医療の在り方について
外間 雅広 (佐世保市/北松浦郡/自由民主党)

【質問】医療機能の高度化について、県内の状況は、神戸医療産業都市の先進事例が参考となるのではないか。

【答弁】本年4月に、長崎大学病院、長崎医療センターの2病院を県内初の高度救命救急センターに指定したほか、長崎大学病院が、来年度、総合周産期母子医療センターとして稼働できるよう支援するなど、県内拠点施設の医療機能の高度化を積極的に推進している。神戸の事例については、本県の医療機能の高度化に参考となるものがないか研究したい。

島原半島ジオパークについて
山本 由夫 (島原市/自由民主党/県民会議)

【質問】ジオパークの情報とサイバスの充実のため、がまだサイボムがインフォメーションセンターとしての役割を果たして、島原半島ジオパーク協議会と島原半島観光連盟が連携していくことが必要ではないか。

【答弁】がまだサイボムのリニューアルの際、島原半島ジオパークの総合ガイダンスコーナーを設置し、島原半島ジオパーク協議会と島原半島観光連盟が連携して、観光客の増加を図り、スタッフ研修会の開催やPR活動に取り組み、観光客の増加につなげたい。

企業誘致の推進について
宅島 寿一 (雲仙市/自由民主党)

【質問】企業誘致は本県経済の活性化に重要な役割を果たすと考える。県の総合計画における企業誘致の目標に対する実績と今後の取組は。

【答弁】平成28年度から32年度までの目標2,700人に対して、現時点で26社を誘致し、2,300人の雇用を創出した。今後は、人口ポット・オートや航空機関連等成長が見込まれる分野の企業誘致に取り組みるとともに、誘致した企業の事業拡大に向け、立地後のアフターフォローにも力を入れていきたい。

長崎空港24時間化の推進について
小林 克敏 (大村市/自由民主党/県民会議)

【質問】深夜早朝の時間帯に羽田方面など国内線の運航を拡大することにより長崎空港を24時間化できるのではないか。

【答弁】現在の羽田発長崎行の最終便は19時台だが、さらに遅い運航ダイヤの増便設定や、LCC等の二子線を捉えた航空機の深夜早期の時間帯における活用などについて、航空会社と協議を行うとともに、他の24時間空港との相互運航により、長崎空港24時間化の実現の可能性が高まるよう引き続き誘致活動に努めていきたい。

カジノ誘致による県民生活への影響について
堀江 ひとみ (長崎市/日本共産党)

【質問】日本型IRはカジノだけでなく総合的なリゾート施設であり、雇用の創出等が期待できる。一方、依存症については、対策をしっかりと講じることが重要であると考えており、国が行う依存症対策と連携しながら、先進事例を参考に対策を講じ、本県の活性化につなげるIRを実現したい。

被爆75年の平和事業について
川崎 祥司 (長崎市/公明党)

【質問】被爆者の高齢化が進み、被爆体験の風化が懸念される。来日する各国要人の来県や原爆投下時刻の黙とうなどを動きかけていくことは、意義深いことである。長崎市、NGOの皆様方も連携し、被爆75年における平和の発信について検討したい。

国際大会のキャンプ誘致について
大場 博文 (島原市/自由民主党/県民会議)

【質問】2020年8月6日は東京オリンピック開会日である。この機に日本に集う世界の要人に長崎訪問を促し、11月2分に黙とうを捧げ、核兵器廃絶、平和の祈りを世界に発信できるような動きがほしい。

【答弁】被爆者の高齢化が進み、被爆体験の風化が懸念される。来日する各国要人の来県や原爆投下時刻の黙とうなどを動きかけていくことは、意義深いことである。長崎市、NGOの皆様方も連携し、被爆75年における平和の発信について検討したい。

九州新幹線西九州ルート全線フル規格化への取組について
八江 利春 (諫早市/自由民主党/県民会議)

【質問】国に対しては、これまでの経緯を重く受け止め、地方負担の最大限の軽減を求めるべき。また、西九州ルートの整備方式も決定に向け、佐賀県と長崎両県が決定し、ともに要望できるようにして、必要があるが、今後の取組は。

【答弁】これまで、政府と関係者に対して、フル規格による整備決定に向けた早急な議論と地元負担の軽減等を要請してきた。今後とも、国に対し、強く働きかけていく。佐賀県とは、強固な意見の調整を図っていきたい。

長崎県議会の活動状況等

長崎県沖縄戦没者追悼式

標記追悼式は、祖国のため等しい犠牲となられました3万5千余の中国大陸及び沖縄以南の地域における本県出身戦没者の御遺徳を偲び、御霊に感謝の誠を捧げるとともに、わが国の恒久の平和を祈念するため、昭和41年11月に第1回追悼式が行われ、その後毎年、遺族をはじめ関係者多数の参列のもとに、沖縄県で追悼式が行われています。

今年度は、11月10日(土)に、沖縄県糸満市摩文仁の丘の「鎮魂長崎の碑」前で、長崎県議会から溝口議長をはじめ8名の議員が参加し、約110名の参加者とともに追悼式が行われました。

第18回都道府県議会議員研究交流大会

標記交流大会は、都道府県議会議員が一堂に会し、共通する政策課題等についての情報や意見の交換を行うとともに、大会参加を通じて議員間の一層の連携を深め、地方分権の時代に即応した議会機能の充実と活力に満ちた地域づくりに役立てるため、全国都道府県議会議長会の主催により毎年11月に開催されています。

今年度は11月13日(火)に東京都内で開催され、長崎県議会からも11名の議員が参加しました。「自治体戦略2040年構想と地方自治」について、東京大学先端科学技術研究センター教授の基調講演を受けた後、「政策立案機能の強化」などテーマ別に5つの分科会に分かれ、意見交換を行いました。

長崎県議会議員特別功労者、永年勤続者表彰式並びに全国都道府県議会議長会永年勤続功労者表彰伝達式

平成30年11月27日(火)本会議終了後、標記表彰式が長崎県議会議場において行われました。副議長から表彰状と記念品の贈呈が行われ、副議長あいさつ、知事からのお祝いの言葉が述べられました。

長崎県議会議員特別功労者表彰
(在職40年)宮内 雪夫 議員

長崎県議会議員永年勤続者表彰
(在職20年)野本 三雄 議員、吉村 庄二 議員、中山 功 議員
(在職15年)橋村 松太郎 議員、溝口 芙美雄 議員、渡辺 敏勝 議員、坂本 智徳 議員、瀬川 光之 議員

全国都道府県議会議長会永年勤続功労者表彰
(在職25年以上)三好 徳明 議員
(在職20年以上)野本 三雄 議員、吉村 庄二 議員、中山 功 議員
(在職15年以上)橋村 松太郎 議員、溝口 芙美雄 議員、渡辺 敏勝 議員、坂本 智徳 議員、瀬川 光之 議員
(在職10年以上)浅田 眞澄美 議員

お知らせ

インターネット中継 インターネットを利用した県議会中継(生・録画)、及びインターネット動画サイト(YouTube)において委員会中継(生・録画)を実施しています。

ホームページ・会議録 会議録全文を掲載しています。

長崎県議会	掲載内容
検索	○平成28年2月～30年9月定例会の本会議・常任委員会 ○平成24年4月～30年9月分の特別委員会

テレビ放送 平成30年11月定例会の様様をまとめた「県議会レポート」を放送します。
 ○平成31年1月19日(土) 16:55～17:25
 ○NCC長崎文化放送